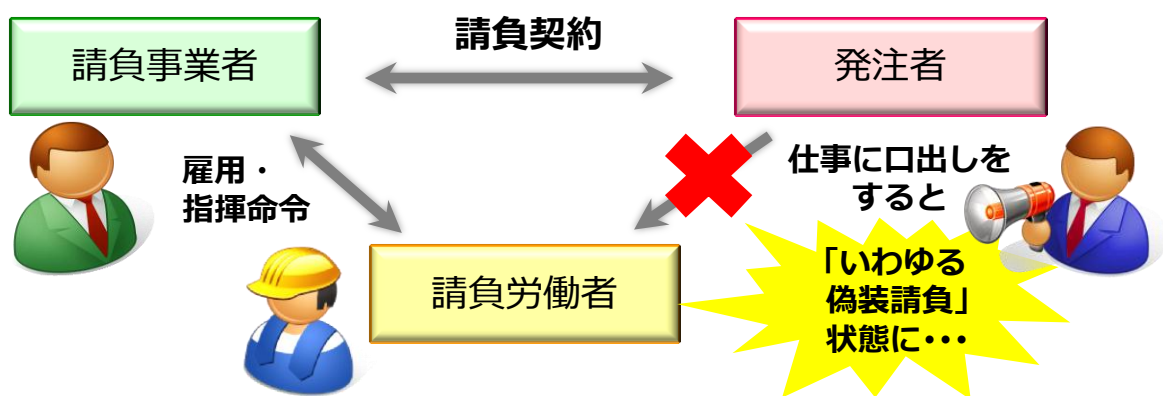


「請負」と「いわゆる偽装請負」の違い

⚠️ 「いわゆる偽装請負」にならないための心得

- ✓ 「請負」とは、請負事業者が作業の完成について、全ての責任を負う契約です（民法第632条に規定）。
- ✓ 請負会社が請け負った作業について、発注者が請負労働者に対して、口出しすると「いわゆる偽装請負」となります。



⚠️ 「いわゆる偽装請負」にならないための心得

1. 請負事業者は、発注者から独立した事業者です。労務管理及び請け負った仕事について、原則として、発注者から口出しを受けてはいけません。
2. 自らの有する専門性に基づいて仕事を受注していますか？
専門性がないまま仕事を請け負うと、結局、口出しを受けることとなります。
3. 法律上の責任（損害賠償責任など）を持って仕事をしていますか？
また、仕事に必要な資金は、自ら準備していますか？
請負事業者は、発注者に頼らず、自ら独立して仕事を請け負う必要があります。

※この資料は、簡略化して説明しています。

労働者派遣、請負のどちらに該当するかは、実態に即して判断されるものです。

「請負」と「いわゆる偽装請負」の違いの詳細は、「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準（昭和61年労働省告示 第37号）」をご覧ください。

「いわゆる偽装請負かな」と思ったら、ご相談ください！

福島労働局 需給調整事業室 024-529-5746